

甲州市立祝小学校

低学年生の実践

1年生は、生活科の授業でさつまいもを育てました。畑に行くのを楽しみに、大切に育て、収穫しました。さつまいものつるでリースを作り、校舎内に飾りました。大きなリースをとてもきれいに仕上げることができました。

2年生は、生活科の学習で、夏野菜(ミニトマト・トマト・枝豆・サツマイモ・かぼちゃ)と冬野菜(大根・白菜・キャベツ)を作りました。毎日、水やりをして大切に育て、収穫しました。収穫した野菜は、家族で会話を楽しみながら、おいしく食べました。



中学年生の実践

3年生は、総合的な学習の時間に、学校敷地内のぶどう園で、マスカットベリーAと甲州の栽培をしました。地域の方の支援・指導を受け、かさかけ・草取り・収穫などの仕事を体験しました。香りがよく、とても甘くておいしいぶどうを収穫することができました。ぶどうジュースを作りました。おいしくてたくさん飲みました。



高学年生の実践

5年生は、社会科と家庭科の合科学習で、お米作り(バケツ稲)を行いました。自分達で作ったお米は、いつもお店で買うお米とはまた違った美味しさでした。稲藁は、祝小学校で飼育しているうさぎの床に敷きました。また、JA食農教室で職を支える農業や地域・自然との関わり(特に野菜)について学びました。

6年生は、感染症対策のために昨年度学習することのできなかった学習(ゆで野菜の調理実習)と、炒め野菜の調理実習をしました。昨年度から持ち越した、待ちに待った調理実習で、ご飯と味噌汁も作って、おいしく料理を食べました。みんなで作って食べるご飯の美味しさと楽しさを味わいました。



保健・給食委員会の実践

給食を残さず食べることができるよう、各学年の残食を調べたところ、低学年生が残食をしていました。そこで、最初は食べられる量に減らし、完食できるようにしました。3色バランスよく食べることの大切さを学び、自分の食べきれぬ量がわかり、盛り付けられた給食を食べることが増えました。

